



平成 19 年 10 月 12 日

各 位

会 社 名 富士急行株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 堀内 光一郎  
 コード番号 9010  
 問 合 せ 先 IR 推進室長兼経営管理部長 和田 一成  
 T E L (0555) 22-7120

## 業績予想の修正のお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 9 日の平成 19 年 3 月期決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正します。

## 1. 平成 20 年 3 月期中間業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 9 月 30 日）

## (1) 単 独

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想(A) (平成 19 年 5 月 9 日発表)	14,730	2,890	2,400	860
今回発表予想(B)	13,160	1,810	1,330	510
増減額(B - A)	1,570	1,080	1,070	350
増減率	10.7	37.4	44.6	40.7
前期実績 (平成 19 年 3 月期中間)	12,494	2,366	1,901	1,046

## (2) 連 結

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想(A) (平成 19 年 5 月 9 日発表)	26,220	3,840	3,340	1,540
今回発表予想(B)	24,810	2,690	2,190	1,070
増減額(B - A)	1,410	1,150	1,150	470
増減率	5.4	29.9	34.4	30.5
前期実績 (平成 19 年 3 月期中間)	23,155	3,102	2,674	1,510

## 2. 平成 20 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 3 月 31 日）

## (1) 単 独

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A) (平成 19 年 5 月 9 日発表)	26,250	3,740	2,710	900
今回発表予想(B)	24,260	2,540	1,490	560
増減額(B - A)	1,990	1,200	1,220	340
増減率	7.6	32.1	45.0	37.8
前期実績 (平成 19 年 3 月期)	24,016	3,337	2,384	794

## (2)連 結

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A) (平成19年5月9日発表)	49,500	5,300	4,300	1,990
今回発表予想(B)	47,450	3,660	2,610	1,190
増減額(B - A)	2,050	1,640	1,690	800
増減率	4.1	30.9	39.3	40.2
前期実績 (平成19年3月期)	46,414	4,710	3,813	1,638

## 3.業績予想修正の理由

中間期の業績予想につきましては、個別及び連結決算とも運輸事業、不動産事業ではほぼ予想どおりとなっておりますが、レジャー・サービス業において富士急ハイランド(遊園地)の入園者減少が影響し、売上高、営業利益、経常利益、中間純利益が減少する見込みとなりました。

主な理由としましては、

今年5月に発生した他社遊園地の遊戯施設事故に伴い、それまで好調に集客していた当社遊園地も影響を受けたこと  
ガソリン価格の値上がりや7月連休の台風直撃、猛暑など天候不順等の影響があったこと  
遊戯機械の特別総点検を実施し費用増加があったこと

などによります。

通期の業績予想につきましては、上記中間期の見直し内容のほか、建設業で主に公共工事の受注減が加わり修正にいたったものであります。

## &lt;業績予想に関する注意事項&gt;

当資料に記載されている業績見通し及び将来の予想に関する記述は、当社及び当社グループにおいて、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素によりこれら業績予想と大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

以 上